

第 54 回日本小児保健学会 プログラム

社会が子どもにもっとできること

～子どもを社会の太陽に、子どもための大作戦～

会 期：平成 19 年 9 月 20 日（木）学術集会
9 月 21 日（金）総会・学術集会
9 月 22 日（土）学術集会・市民公開講座

会 場：群馬県民会館
〒371-0017 群馬県前橋市日吉町 1 丁目 10-1
TEL：027-232-1111
前橋商工会議所会館
〒371-0017 群馬県前橋市日吉町 1 丁目 8-1
TEL：027-234-5111

会 頭：森川 昭廣（群馬大学大学院医学系研究科小児生体防御学教授）

事務局：群馬大学大学院医学系研究科小児生体防御学
〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-22

JSCH 2007

第54回日本小児保健学会開催にあたって

—ご挨拶—

群馬によろこそ。群馬県は北関東三県の一番西側に位置し、人口200万人、日本でも有数の長い日照時間を誇り、また自然に恵まれた県です。一方で東京駅から新幹線に乗ると50分程で群馬県の入り口、高崎市に到着します。県都は前橋で高崎から両毛線で15分程のところにあります。日本小児保健学会の開催は1972年11月に松村龍雄先生を会頭に開催されました。私も配車係として今回も会場となる群馬県民会館前を走り回ったことが思い出されます。さて、今回の学会テーマを「社会が子どもにもっとできること—子どもを社会の太陽に、子どものための大作戦—」といたしました。子どもは社会の宝物ですし、また社会を明るくしてくれる存在です。それゆえ、社会は参政権はなくとももっと子ども達を輝かせねばなりません。このテーマに沿いプログラムを多くの方にサジェスチョンを頂きながら作成致しました。特別講演として社会福祉国家の代表であるスウェーデンから Margareta Blennow 先生をお招きし、世界の小児保健というタイトルでお話頂きます。さらに子どもが生きること、また不幸にも死に至ることについての特別講演も頂きました。教育講演には子どもの心、離乳食、事故防止、インフォームドコンセントを、シンポジウムでは病弱児の療育について、育児環境、食育、虐待、発達障害、禁煙を取り上げました。また、DENVER II—デンバー発達判定法—の講習会も開催致します。

今年の学会の特徴は発表形式を従来型とパワーポイントによる型とを用意し、どちらでもお好みの方法を選択できるようにしました。また、従来抄録原稿2ページのところ、1ページと致しました。今年はそのような事情もあり抄録のページ数が減りましたことをお許し下さい。

どうぞ沢山の方に群馬に来て頂き、学問、懇親、温泉をキーワードに3日間を群馬県でお楽しみ下さい。

2007年7月

会頭 森川昭廣

(群馬大学大学院医学系研究科小児生体防御学教授)

ご 案 内

総合受付	群馬県民会館 1 階	ロビー
第 1 会場	群馬県民会館 1 階	大ホール
第 2 会場	群馬県民会館 2 階	小ホール
第 3 会場	群馬県民会館 4 階	402 会議室
第 4 会場	群馬県民会館 4 階	403 会議室
第 5 会場	群馬県民会館 5 階	503・504 会議室
第 6 会場	群馬県民会館 5 階	505・506 会議室
第 7 会場	前橋商工会議所会館 2 階	サクラ
第 8 会場	前橋商工会議所会館 2 階	ローズ
第 9 会場	前橋商工会議所会館 3 階	リリィー
第 10 会場	前橋商工会議所会館 3 階	アイビー
座長・演者受付 (A)	群馬県民会館 1 階	展示室
座長・演者受付 (B)	前橋商工会議所会館 1 階	ロビー
クローク	群馬県民会館 1 階	展示室
企業展示	群馬県民会館 1 階	展示室
ドリンクコーナー	群馬県民会館 1 階	展示室
懇親会会場	前橋商工会議所会館 2 階	サクラ
学会本部	群馬県民会館 1 階	第 1 楽屋

1. 参加受付について

- 1) 受付は総合受付で 9 月 20 日 (木) は正午より、9 月 21 日 (金)・22 日 (土) は 8:40 より行います。
- 2) 当日受付の方は、総合受付にて参加費 10,000 円と、会員懇親会にご参加される方は参加費 5,000 円をお支払いの上、ネームカードに氏名と所属を記入し各自でお付け下さい。
- 3) 事前受付の方は、事前を送付されたネームカードに氏名と所属を記入し各自でお付け下さい。事前に講演集をお申し込み頂いた方は、引換証を講演集受付にご提示下さい。
- 4) 当日、講演集をご希望の方は、3,000 円にて販売いたします。ただし、数に限りがありますのでご了承下さい。

2. 一般演題について

- 1) 座長・演者の方は必ず「座長・演者受付[A]/[B]」で受付をお済ませ下さい。
第 2 会場～第 6 会場の座長・演者の方：「座長・演者受付[A] (群馬県民会館 展示室)」
第 7 会場～第 10 会場の座長・演者の方：「座長・演者受付[B] (前橋商工会議所会館 ロビー)」
- 2) 発表時間は講演 6 分、質疑 4 分の計 10 分です。時間を厳守してください。

3. 座長について

- 1) セッション開始 30 分前までに受付をお済ませ下さい。
- 2) セッション開始 15 分前までに次座長席にお付き下さい。

4. 演者について

- 1) セッション開始 60 分前までに受付をお済ませ下さい。
- 2) 発表の 10 分前までに次演者席にお付き下さい。
- 3) 追加資料の配布はご遠慮下さい。

●パワーポイントによる発表の方へ●

【データ（CD-R、USB フラッシュメモリ）を持ち込まれる方へ】

- 1) ご発表の 60 分前までに CD-R、USB フラッシュメモリをご持参の上、受付をお済ませ下さい。
- 2) お持込いただけるメディアは、Windows Power Point Ver.2003 で作成されたデータのみと致します。
- 3) Macintosh で作成したデータは必ず Windows での動作確認をお願いします。
- 4) アプリケーションは Windows XP Power Point Ver.2003 をご用意いたします。
- 5) 不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ち下さい。
- 6) フォントは Windows に標準搭載されているものをご使用下さい。
- 7) メディア作成後、他のパソコンで正常に動作するか確認して下さい。
- 8) 動画再生ソフトは Windows Media Player に限定致します。
- 9) 発表データのファイル名は「(演題番号) (演者名)」として下さい。
- 10) 動画をご使用になる場合は、受付時に必ずオペレーターにお申し出て下さい。
- 11) ご発表の際は、演台にセットしております操作キーボード・マウスを使用し、先生ご自身により操作をお願いいたします。
- 12) 発表後のデータは、学会事務局立会いのもとすべて消去いたします。

【ノートパソコンを持ち込まれる方へ】

- 1) ご発表の 60 分前までにノートパソコンをご持参の上、受付をお済ませ下さい。
- 2) 事務局では Mini D-sub15pin のケーブルをご用意いたしますが、一部のノートパソコンでは本体付属のコネクタが必要な場合がありますので、必ずご持参下さい。
- 3) 動画をご使用になる場合は、受付時に必ずオペレーターにお申し出て下さい。
- 4) 発表データのファイル名は「(演題番号) (演者名)」とし、必ずデスクトップ画面に保存して下さい。
- 5) スクリーンセーバー、省電力設定ならびにログインパスワード等は事前に解除しておいて下さい。
- 6) 本体付属の電源コードは必ずお持ち下さい。
- 7) 不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ち下さい。
- 8) 発表後は「座長・演者受付[A]/[B]」にてパソコンをお受け取り下さい。

9) ご発表の際は、演台にセットしております操作用キーボード・マウスを使用し、先生ご自身により操作をお願いいたします。

●口演発表の方へ●

- 1) ご発表の 60 分前までに受付をお済ませ下さい。
- 2) 発表形式は口演です。スライド映写、パワーポイントによる発表はできません。

4. 質疑等ご発言される方へ

討論時間節約のため、あらかじめマイクの前でお待ち下さい。所属・氏名を明らかにした上で簡潔にご発言下さい。

5. 連絡掲示板について

会場内での呼び出しは原則として行いません。掲示板を設置しますので、ご利用下さい。

6. 託児所について

会期中、託児サービスを実施します。ご希望の方は、事前に【事務局代行】までお問合せ下さい。

7. 企業展示について

9月20日(木)・21日(金)・22日(土)に群馬県民会館1階 展示室で行います。

8. 公開市民講座について

9月20日(木)

13:30～15:30 シンポジウム 1 群馬県民会館 1階小ホール (第2会場)

15:30～17:30 シンポジウム 2 群馬県民会館 1階小ホール (第2会場)

9月22日(土)

13:20～14:20 特別講演 2 群馬県民会館 1階大ホール (第1会場)

13:20～15:20 シンポジウム 6 群馬県民会館 2階小ホール (第2会場)

14:30～16:30 シンポジウム 5 群馬県民会館 1階大ホール (第1会場)

9. 会員懇親会

9月21日(金) 18:00より前橋商工会議所会館【サクラ】にて開催いたします。

当日申し込みは総合受付で懇親会費 5,000円をお支払い下さい。

10. 会議、委員会（予定）

理事・支部長会議	9月20日（木）15：00～16：00	第10会場（前橋商工会議所会館）
評議員会	9月20日（木）16：00～16：30	第10会場（前橋商工会議所会館）
代議員会	9月20日（木）16：30～17：30	第10会場（前橋商工会議所会館）
編集委員会	9月21日（金）12：00～13：00	第一委員会室（前橋商工会議所会館）
発育委員会	9月21日（金）12：00～13：00	第二委員会室（前橋商工会議所会館）
栄養委員会	9月21日（金）12：00～13：00	常議員会室（前橋商工会議所会館）
小児救急の社会的サポートに関する委員会	9月21日（金）12：00～13：00	和室（前橋商工会議所会館）
総会	9月21日（金）11：40～12：10	第1会場（群馬県民会館）
新理事会	9月21日（金）未定	501会議室（群馬県民会館）
平成22年度幼児健康度調査委員会	予定	

11. クローク

群馬県民会館1階 展示室に設置します。

■会場周辺案内図

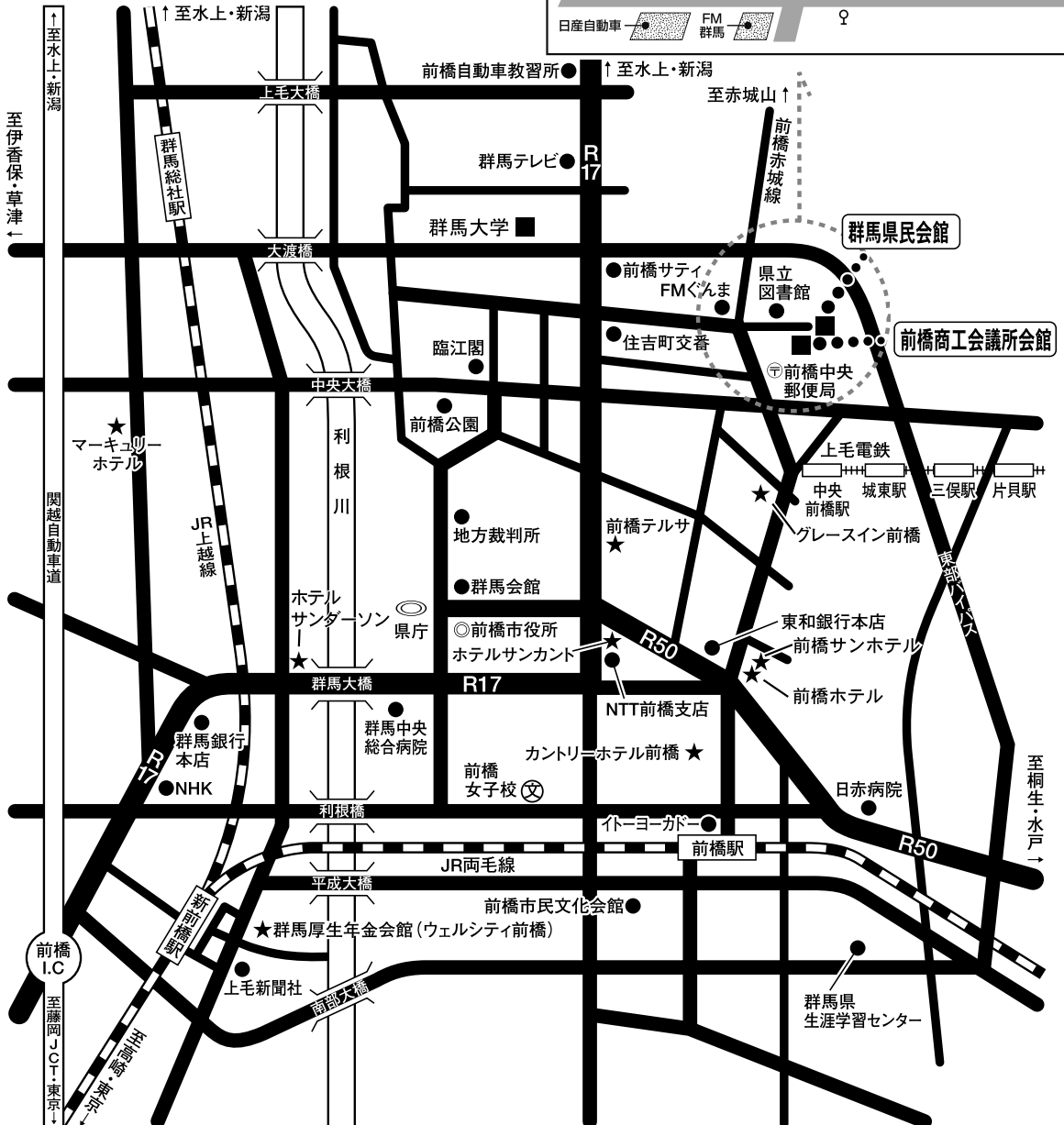
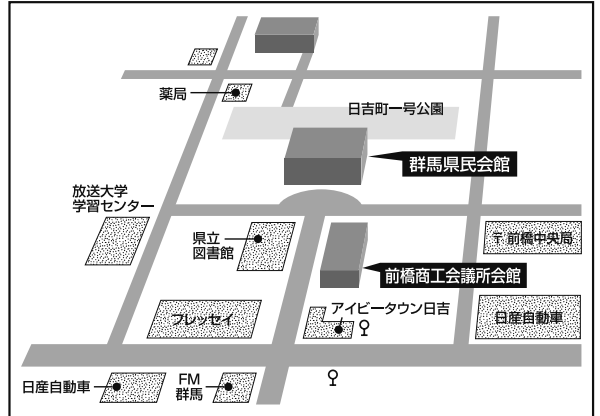
主な駅から高崎駅までの所要時間（新幹線利用）

東京 約50分
新潟 約79分
長野 約45分

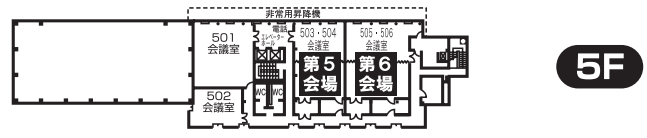
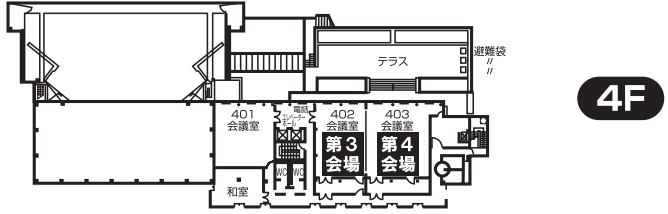
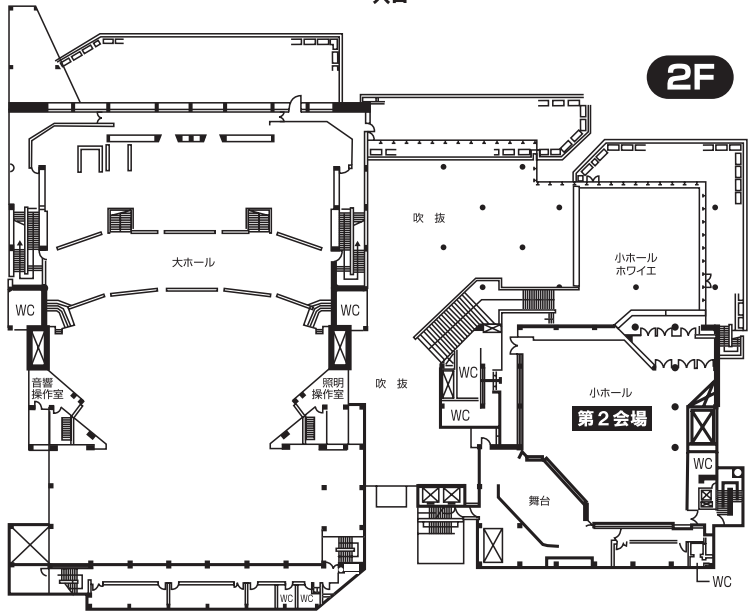
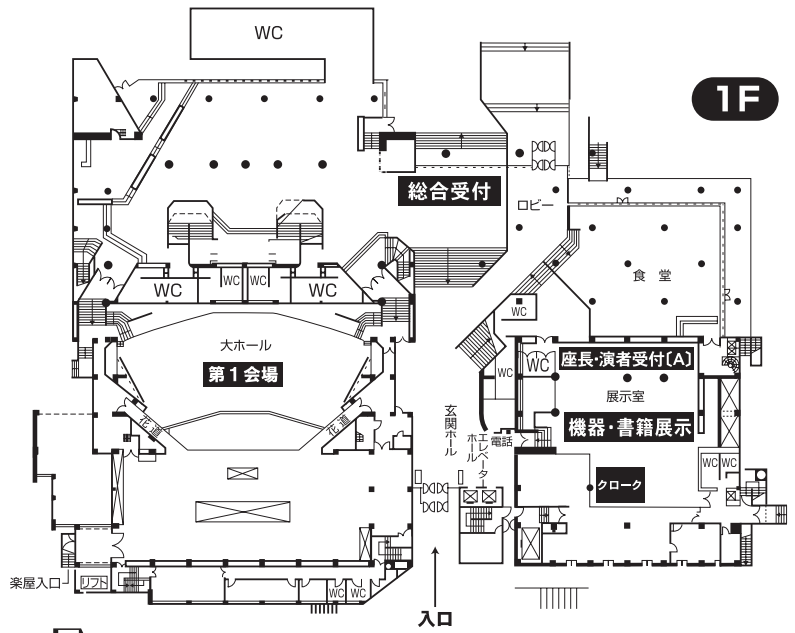
高崎駅から在来線乗換え案内

前橋駅行き：両毛線（下り） 約15分
新前橋駅行き：両毛線（下り） 約10分
高崎線・上越線（下り） 約10分

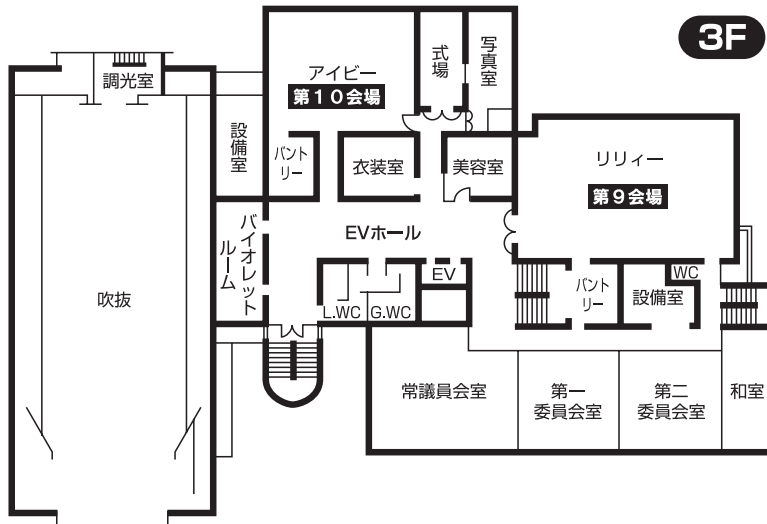
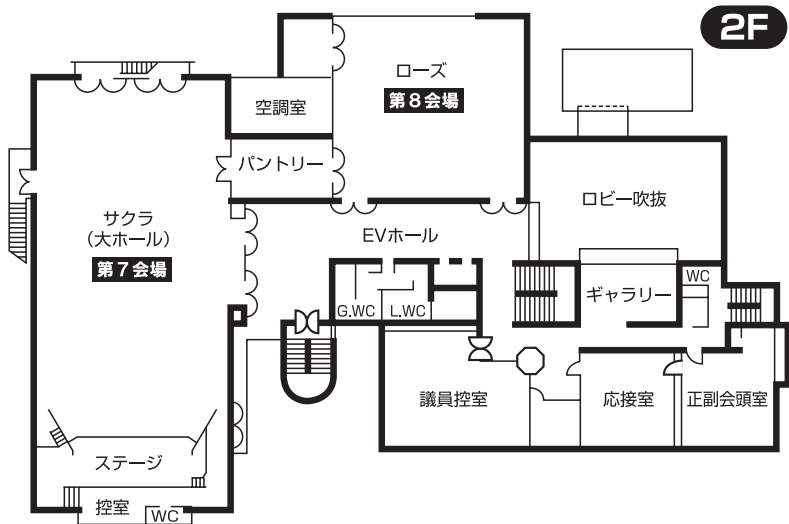
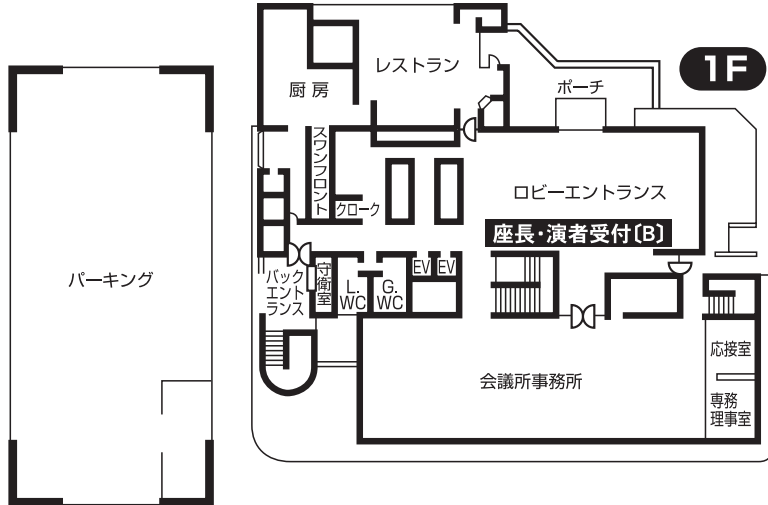
- ・ JR前橋駅より路線バス（1.4.5.6番乗り場）約10分
住吉町交番下車 徒歩5分
- ・ JR新前橋駅より臨時路線バスを運行予定 約25分



群馬県民会館



前橋商工会議所会館



第54回日本小児保健学会日程

	平成19年9月20日(木)	平成19年9月21日(金)	平成19年9月22日(土)
8:00		8:40 受付 (群馬県民会館)	8:40 受付 (群馬県民会館)
9:00		9:00 教育講演1	9:00 一般演題
		教育講演2	
10:00		10:00 教育講演3	
		教育講演4	
11:00		11:00 会頭講演	
		11:40 総会	
12:00	12:00 受付	12:10 ランチョンセミナー1~3	12:00 12:10 ランチョンセミナー4~6
13:00	13:00		13:00
13:30	シンポジウム1 (公開)	13:10 特別講演1	13:10 特別講演2 (公開)
14:00	DENVER II ーデンバー発 達判定法ー 判定技術養成 講習会	13:50 特別講演4	13:20 シンポジウム6 (公開)
15:00		14:50	特別講演3
15:30		15:00 シンポジウム3	シンポジウム4
16:00	15:00 理事・支部長 会議	16:00 評議員会	15:20
16:30	16:00 代議員会		16:30
17:00	17:00	17:00	
17:30	17:30		18:00
18:00		18:00	
19:00		懇親会 前橋商工会議所会館 【サクラ】	
20:00			

一般演題日程表

平成19年9月21日（金）

	群馬県民会館				前橋商工会議所会館			
	4F		5F		2F		3F	
	第3会場 402会議室	第4会場 403会議室	第5会場 503-504会議室	第6会場 505-506会議室	第7会場 サクラ	第8会場 ローズ	第9会場 リライアー	第10会場 アイビー
13:20	13:20	13:20	13:20	13:20	13:20	13:20	13:20	13:20
13:30	育児・保育1 1～5 中村 肇	社会・環境1 17～20 瀬島 斉	防煙 39～44 加治正行	感染症・ 予防接種1 63～66 佐藤吉社	精神保健1 83～87 泉 達郎	小児医療1 97～102 内山 聖	小児医療6 123～128 伊藤悦朗	生活習慣1 149～153 玉那覇栄一
13:40								
14:00		14:00		14:00				
14:10	14:10	社会・環境2 21～26 山口規容子	14:20	感染症・ 予防接種2 67～70 土屋 滋	14:10	14:20	14:20	14:10
14:15	14:15							
14:20	育児・保育2 6～11 北條博厚	15:05	育児・保育4 45～50 摂津浩二	健康診断1 71～76 佐藤 保	14:45	14:50	15:05	15:10
14:30								
14:40								
14:50								
15:00								
15:10								
15:15	育児・保育3 12～16 西田 勝	15:10	15:25	15:30	15:10	15:10	15:15	15:20
15:20								
15:30								
15:40								
15:50								
16:00								
16:10	16:10	16:15	16:30	健康診断2 77～82 平岩幹男	15:50	15:55	16:00	16:05
16:20	16:15							
16:30								
16:40								
16:50								
17:00								
17:10								
17:20								
17:30								
17:40								
17:50								
18:00								

平成19年9月22日（土）

群馬県民会館					前橋商工会議所会館				
2F		4F		5F		2F		3F	
第2会場 小ホール	第3会場 402会議室	第4会場 403会議室	第5会場 503-504会議室	第6会場 505-506会議室	第7会場 サクラ	第8会場 ローズ	第9会場 リライ	第10会場 アイビー	
9:00	900	900	900	900	900	900	900	900	
9:10	育児・保育7 170～173 後藤彰子	育児・保育10 184～188 小松和男	発育・発達3 197～201 峯 真人	栄養1 214～218 岡田知雄	喘息・ アレルギー-1 230～233 堤 裕幸	精神保健4 245～249 山崎嘉久	小児医療12 260～264 近藤直実	事故と救急1 276～280 田崎 考	学校保健2 291～295 小田 慈
9:20									
9:30									
9:40	940				940				
9:45	945				945				
9:50	950	950	950	950	950	950	950	950	
10:00	育児・保育8 174～177 木村留美子	育児・保育11 189～192 江原弘佳	発育・発達4 202～207 石田覺也	栄養2 219～224 牛久英雄	喘息・ アレルギー-2 234～239 望月博之	精神保健5 250～254 関 秀俊	小児医療13 265～270 大木康史	事故と救急2 281～285 大山建司	学校保健3 296～300 岡田洋子
10:10									
10:20									
10:25									
10:30	1030								
10:40		1035							
10:45		1040			1045			1045	
10:50	育児・保育9 178～183 小谷信行	育児・保育12 193～196 千田勝一	1055	1055	1050	1055	1100	1050	1050
11:00									
11:10									
11:15									
11:20		1120			学校保健1 240～244 徳山研一	精神保健6 255～259 田中義人	小児医療14 271～275 田中 均	事故と救急3 286～290 白石裕比湖	学校保健4 301～306 荒川浩一
11:30									
11:40									
11:30	1130		発育・発達5 208～213 松村京子	新生児・ 未熟児 225～229 伊藤 進	1140			1140	
11:40									
11:50				1150			1150		
12:00		1200						1150	

学会プログラム

9月20日(木)・21日(金)・22日(土)

会頭講演 9月21日(金) 11:00~11:40 第1会場

社会が子どもにもっとできることー疾病予防の面からー

森川 昭廣 (群馬大学大学院医学系研究科小児生体防御学)

座長: 村上 睦美 (社団法人日本小児保健協会)

特別講演1 9月21日(金) 13:20~14:50 第1会場

Child Health Care in Sweden

—99% of children attend today what about tomorrow?

Margareta Blennow (Child Health Care services, Sachs' Children's Hospital, Stockholm
South General Hospital, Stockholm, Sweden)

座長: 森川 昭廣 (群馬大学大学院医学系研究科小児生体防御学)

特別講演2 9月22日(土) 13:20~14:20 第1会場 (一般公開)

子供に環境と生きものを観せる必要性

矢島 稔 (群馬県立ぐんま昆虫の森)

座長: 前川 喜平 (神奈川県立保健福祉大学人間総合・専門基礎学科)

特別講演3 9月22日(土) 13:20~14:20 第7会場

法医学からみた子供の虐待

小湊 慶彦 (群馬大学大学院医学系研究科病態遺伝法医学)

座長: 加藤 達夫 (国立成育医療センター)

特別講演4 9月21日(金) 13:50~14:50 第2会場

死を通して生を考える教育~現在の社会に最も必要とされるもの~

中村 博志 (東京純心女子大学)

座長: 高野 陽 (母子愛育会日本子ども家庭総合研究所)

教育講演1 9月21日(金) 9:00~10:00 第1会場

こどもの考えていること

木部 則雄(白百合女子大学発達心理学専攻)

座長: 衛藤 隆(東京大学大学院教育学研究科身体教育学コース)

教育講演2 9月21日(金) 9:00~10:00 第2会場

新しい離乳食の手引き「授乳・離乳の支援ガイド」は従来とどう変わったか

山城 雄一郎(順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座)

座長: 柳澤 正義(母子愛育会日本子ども家庭総合研究所)

教育講演3 9月21日(金) 10:00~11:00 第1会場

新しい母子保健情報システムを用いた事故防止

山縣 然太郎(山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座)

座長: 山中 龍宏(緑園こどもクリニック)

教育講演4 9月21日(金) 10:00~11:00 第2会場

小児医療におけるインフォームド・コンセントの意義

白幡 聡(産業医科大学小児科)

座長: 衛藤 義勝(東京慈恵会医科大学小児科)

シンポジウム1 9月20日(木) 13:30~15:30 第2会場(一般公開)

病弱児の療育は今

座長: 竹内 政夫(病弱児療育研究会/群馬整肢療護園)

宮田 功郎(日本療育学会/町田市教育センター)

1. 群馬県の現状と問題点

松井 晶(病弱児療育研究会)

2. 愛知県の病弱教育—過去・現在・未来—

阪 正和(愛知県病弱児療育研究会)

3. 奈良県の現状と問題点

吉岡 章(奈良県立医科大学小児科)

4. 病弱児療育の現状と問題点

西牟田 敏之 (国立病院機構下志津病院)

5. 病弱児が求める療育

原 美智子 (群馬大学教育学部障害児教育講座)

指定発言 市川 豊 (千葉県立仁戸名養護学校)

木口 文子 (新潟県立吉田病院)

シンポジウム2 9月20日(木) 15:30~17:30 第2会場 (一般公開)

育児の環境整備—保育園と幼稚園の一元化：認定こども園を考える—

座長：鴨下 重彦 (日本保育園保健協議会)

疋田 博之 (疋田小児科医院)

1. 認定子ども園制度の概要と現状について

度山 徹 (厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 保育課 幼保連携推進室)

2. 保育園看護職の健康支援

藤城 富美子 (杉並区立久我山保育園看護師)

3. 幼稚園・保育園からみた幼保連携の課題と積極的可能性

近藤 幹生 (白梅学園短期大学保育科)

4. 幼児教育センター的役割を目指して

山本 茂 (六合村立六合子ども園)

シンポジウム3 9月21日(金) 15:00~17:00 第1会場

食育を科学する

座長：武井 謙司 (武井小児歯科医院)

平山 宗宏 (高崎健康福祉大学保健福祉学科)

1. 子どものQOLのために、「噛むこと」「味わうこと」の大切さ

赤坂 守人 (日本大学歯学部研究所)

2. 小児のメタボリックシンドロームと食育

大関 武彦 (浜松医科大学小児科)

3. 子どもの体と心を培う食育について

佐藤 洋子 (伊勢崎市健康推進部健康管理課)

4. 胎生期エピジェネティクス制御機構から食育を考える

福岡 秀興 (早稲田大学胎生期エピジェネティクス制御研究所)

5. 食べ方を科学する

向井 美恵 (昭和大学歯学部口腔衛生学教室)

シンポジウム4 9月21日(金) 15:00~17:00 第2会場

子ども虐待予防のための保健・医療の連携強化

座長：小林 美智子（大阪府立母子保健総合医療センター）

小泉 武宣（群馬県立小児医療センター）

1. 子ども虐待予防のための保健・医療の連携：子ども虐待にどう向き合うか
杉山 登志郎（あいち小児保健医療総合センター）
2. 保健機関と医療との連携の実態と課題 —実践—
柳川 敏彦（和歌山県立医科大学保健看護学部）
3. 保健師によるハイリスク児への家庭訪問援助 —実践と課題—
廣末 ゆか（高知県田野町役場保健福祉課）
4. 周産期における虐待予防の視点
古屋 眞弓（神奈川県立こども医療センター）
5. 児童虐待防止における関係機関の連携への期待
来生 奈巳子（厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室）

シンポジウム5 9月22日(土) 14:30~16:30 第1会場（一般公開）

発達障害の子どもたちの観察からわかること

座長：榊原 洋一（お茶の水女子大学こども発達教育センター）

松石 豊次郎（久留米大学医学部小児科学）

1. 「AD/HD の子どもから学ぶこと」
—医療側から：小児科における AD/HD 診断治療ガイドラインの策定を通して—
宮島 祐（東京医科大学小児科）
2. 発達障害をもつ子どもたちの問題行動の観察と対応
山下 裕史朗（久留米大学小児科）
3. 授業の中の「困り感」と「学びと育ち」
～「困り感」のあるすべての子どもたちを救うために～
佐藤 暁（岡山大学）
4. 市民として地域発達支援システムを利用する姿から考える
辻井 正次（中京大学現代社会学部／NPO 法人アスペ・エルデの会）
5. 広島少年院の取材から見えること
～一人ひとりのニーズに応じるユニバーサル・デザインな教育の必要性
品川 裕香（教育再生会議委員／教育ジャーナリスト）

シンポジウム6 9月22日(土) 13:20~15:20 第2会場(一般公開)

**子どもにはもっときれいな空気が必要です
—たばこのない社会を目指して—**

座長: 吉見 逸郎(国立保健医療科学院研究情報センターたばこ政策情報室)

福永 慶隆(日本医科大学小児科)

1. こどもの喫煙を防ぐには
作田 学(日本禁煙学会/杏林大学第一内科)
2. 小児に対する薬理的喫煙の影響
王 宝禮(松本歯科大学歯科薬理学講座・大学院口腔内科学)
3. 子どもにはきれいな空気が必要です—たばこのない社会を目指して— ~小児科医から~
小田嶋 博(国立病院機構福岡病院)
4. なるほど ザ 防煙教育 (あなたの話 北風型?太陽型?)
岡崎 好秀(岡山大学医学部・歯学部附属病院小児歯科)
5. 「タバコ対策」における学校無煙化の重要性
原田 正平(国立成育医療センター研究所 成育政策科学研究部)

ランチョンセミナー1 9月21日(金) 12:10~13:10 第1会場

**①新型インフルエンザの動向—群馬県の状況を踏まえて—
②インフルエンザ菌 b 型 (Hib) ワクチンについて**

津久井 智(群馬県健康福祉局保健予防課新型インフルエンザ対策室)

座長: 眞鍋 重夫(群馬県健康福祉局)

ランチョンセミナー2 9月21日(金) 12:10~13:10 第2会場

小児糖尿病対策としての学校保健の成果と今後の問題点

佐々木 望(埼玉医科大学小児科)

座長: 五十嵐 隆(東京大学医学部小児科学教室)

共催: サノフィ・アベンティス株式会社

ランチョンセミナー3 9月21日(金) 12:10~13:10 第7会場

小児がん経験者の QOL

前田 美穂(日本医科大学小児科)

座長: 林 泰秀(群馬県立小児医療センター)

共催: ノボノルディスクファーマ株式会社

ランチョンセミナー4 9月22日(土) 12:10~13:10 第1会場

小児における食物アレルギーの対応

向山 徳子 (同愛記念病院小児科)

座長: 河野 陽一 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

共催: グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー5 9月22日(土) 12:10~13:10 第2会場

現代における思春期の性一産婦人科外来からの報告一

家坂 清子 (医療法人清和会 いえさか産婦人科医院)

座長: 池田 優子 (高崎健康福祉大学看護学部)

共催: 三菱ウェルファーマ株式会社

ランチョンセミナー6 9月22日(土) 12:10~13:10 第7会場

川崎病に罹った子どもをどう管理するか

佐地 勉 (東邦大学医療センター大森病院小児科)

座長: 菌部 友良 (日本赤十字社医療センター)

共催: 帝人ファーマ株式会社

一 般 演 題

9月21日(金)第3会場

育児・保育1 13:20~14:10

座長：兵庫県立こども病院 中村 肇

1. 小学生の乳児に対するあやし行動—音声及び行動の分析—
湊川短期大学 中川 愛
2. 中学生と乳幼児の交流が相互の発達に与える効果—乳幼児に効果的な体験プログラムの立案—
広島大学 七木田敦
3. 幼老複合型施設における交流活動の評価に関する研究—幼児の保護者の意識調査から—
広島大学大学院 松井剛太
4. 京あんしんこども館の保健医療相談から見えること
京都市子ども保健医療相談・事故防止センター（京あんしんこども館） 井上了子
5. 「いしかわ縦断子育て支援キャラバン」による子育ての実態調査
金沢大学医学部保健学科 佐藤啓子

9月21日(金)第3会場

育児・保育2 14:15~15:15

座長：静岡英知学院大学人間社会学部地域福祉学科 北條 博厚

6. 学齢期の子どもをもつ母親の親役割意識と QOL
共立女子短期大学 田崎知恵子
7. 育児グループの効果に関する研究
神戸大学医学部保健学科 松田宣子
8. 戸塚区福祉保健センターによる育児支援の試み
IPU 環太平洋大学 今泉岳雄

9. 育児負担感の現状と子育て支援の課題～岡山市育児環境調査から～

岡山市保健所健康づくり課 市場尚文

10. 東京都 23 区の保育園における保健活動と看護職の役割

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家族看護学分野 村上慶子

11. 発達障害児（者）支援のための社会資源調査 —保健医療福祉と教育のネットワーク作りのために—

鳴門教育大学学校教育学部特別支援教育講座 津田芳見

9 月 21 日（金）第 3 会場

育児・保育 3 15 : 20～16 : 10

座長：社会福祉法人枚方療育園 西田 勝

12. 当院小児外来における遊びを介した育児支援・心理的ケア

順天堂大学小児科 吉川尚美

13. 入院生活における幼児後期の子どもの遊び体験に対する親の認識

大阪大学医学系研究科保健学専攻学専攻 村田絵美

14. 医療施設における入院児のきょうだい支援

京都女子大学大学院発達教育学研究科 原 純子

15. 病棟での育児支援サークルびあんずへの取り組み

杏林大学医学部付属病院 細谷美千代

16. 付添者を介した小児病棟入院患者のプライバシーセンス調査

鹿児島大学病院 6 階東病棟 福村玲奈

9 月 21 日（金）第 4 会場

社会・環境 1 13 : 20～14 : 00

座長： 島根大学医学部小児科 瀬島 斉

17. 山梨県における父子手帳の作成と配布の実態について

山梨大学医学部附属病院 神宮司貴子

18. 家族の生活時間記録のデータベース化—家事中の1歳半児の行動と家族構成との関係の解析を例に—
国立成育医療センター研究所成育社会医学研究部 谷村雅子
19. 家族形態と乳幼児の対人経験
国立成育医療センター研究所・成育社会医学研究部 大熊加奈子
20. 親子の社会的健康度に視点を置いた幼児期健康支援に関する基礎研究～幼児期健診用問診項目の試作及びエビデンス等の集積～
山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座 下園美保子

9月21日（金）第4会場

社会・環境2 14:05～15:05

座長：恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院 山口 規容子

21. 大学生と看護職による思春期まちの保健室—4年間の成果と課題—
まちの保健室イコイバ運営委員（九州看護福祉大学看護学科） 久佐賀真理
22. 電話相談による支援についての検討—相談員の対応より—（第5報）
金沢大学大学院医学系研究科 木村留美子
23. 人工死産率は地域所得格差を反映する —県民所得と母子保健統計から—
兵庫県立こども病院小児科 下岡武史
24. 関東甲信越静地区における里親の養育の現状
山梨県立看護大学 田淵和子
25. 東ティモールにおける孤児の身体発育に関する実態調査（第一報）
山梨県立看護大学短期大学部 小尾栄子
26. 第一次世界大戦後における日本赤十字社のポーランド戦災孤児救済活動が今日に及ぼしている影響
日本赤十字豊田看護大学 中垣紀子

9月21日（金）第4会場

発育・発達1 15:10~16:10

座長：長崎大学医学部保健学科 松本 正

27. 1歳6ヵ月児健診及び3歳児健診問診票における問題行動設問項目の実態に関する全国調査結果
国立保健医療科学院生涯保健部 加藤則子
28. 通常学級に所属し特別な支援を要する子どもの実態と乳幼児健診
神戸大学大学院医学系研究科・神戸市立垂水養護学校 山口志麻
29. 倉敷市における3歳6ヵ月児の発達の研究
倉敷市立短期大学保育学科 江原寛昭
30. 軽度発達障害児への気づき：5歳児健診と事後相談体制—第1報 相談件数の推移から見えてくるもの—
鳥取大学地域学部地域教育学科 小枝達也
31. 軽度発達障害児への気づき：5歳児健診と事後相談体制—第2報 子育て相談について—
鳥取大学地域学部地域教育学科 塩野谷 斉
32. 軽度発達障害児への気づき：5歳児健診と事後相談体制—第3報 心理発達相談について—
鳥取大学地域学部地域教育学科 寺川志奈子

9月21日（金）第4会場

発育・発達2 16:15~17:15

座長：高知大学医学部小児科 脇口 宏

33. 発達障害児の親は「ことばの遅れ」以外の症状を捉えているのか？
埼玉県立小児医療センター保健発達部 南谷幹之
34. 保育園における障害児および気になる子についての調査（1）
—診断を受けている子どもの割合と診断名について—
奈良教育大学 郷間英世
35. 保育園における障害児および気になる子についての調査（2）
—診断を受けていない気になる子の割合とその特徴について—
京都国際社会福祉センター 郷間安美子

36. 幼稚園の適応困難に関する保育者の意識調査 第1報

埼玉大学教育学部 吉川はる奈

37. 軽度発達障害児の親の思い

岡山大学医学部保健学科 赤澤ゆかり

38. 「育てにくさ」に寄り添うためのチェックリスト—第2報—

(社)三鷹市医師会乳幼児健診推進委員会 大塚ゆり子

9月21日(金)第5会場

防 煙 13:20~14:20

座長：静岡市保健福祉子ども局保健衛生部 加治 正行

39. 病児支援者の喫煙に対する意識評価—加濃式社会的ニコチン依存度調査票を用いて—

札幌医科大学保健医療学部 今野美紀

40. 中学校における喫煙防止教育講習会の事前アンケートの結果から

西部県民局富岡保健福祉事務所 白井久美子

41. 子どもを受動喫煙から守るために 第2報 保育士へのアプローチ

東京都町田保健所 齋藤麗子

42. 名古屋のタクシー100%禁煙化の方法と現状

青山病院(愛知)小児科 中川恒夫

43. 小児科医のタバコに関する意識調査

(社)日本小児科医会調査委員会 石黒成人

44. 静岡市における小中学生の喫煙実態アンケート調査結果について

静岡市保健福祉子ども局保健衛生部 加治正行

9月21日（金）第5会場

育児・保育4 14:25～15:25

座長：富山県小児保健協会 摂津 浩二

45. 父親の育児に対する役割意識に関する研究

兵庫大学健康科学部看護学科 川上あずさ

46. 初めて乳児をもつ父親の育児観

群馬大学医学部保健学科看護学専攻 牧野孝俊

47. 休日健診における父親同伴の有無による育児認識

徳島大学医学部保健学科 橋本浩子

48. 幼児へのタッチケアの試み

吉永小児科医院 吉永陽一郎

49. 育児において親が新生児を抱くことの意味

元神奈川県立こども医療センター 深谷基裕

50. 青年期男女の性役割態度と乳幼児への好意感情・育児への積極性

埼玉医科大学病院新生児・未熟児病棟 大野陽子

9月21日（金）第5会場

育児・保育5 15:30～16:30

座長：元国立病院機構三重中央医療センター 多喜 紀雄

51. 思春期問題に対する支援システムとしてのネットワークの構築 —A 思春期研究会の実践報告—

青森県立保健大学 佐藤 愛

52. 働く母親の育児と仕事の両立意識に関する一考察—私立A保育園を対象として—

杏林大学保健学部看護学科 加藤昌代

53. 保育者が障害の早期発見をするということ—保育者を対象とした講演会「保護者の障害受容をどう支援するか」におけるアンケート調査結果より—

比治山大学短期大学部 七木田方美

54. 育児困難を抱えた母親におけるレジリエンスの検討

金沢大学医学部保健学科 関 秀俊

55. 育児支援プログラム「Nobody's Perfect」実践報告（第1報）

埼玉県立大学 及川裕子

56. 育児支援プログラム「Nobody's Perfect」実践報告（第2報）ファシリテーターからみたプログラム評価

甲南女子大学 岸田泰子

9月21日（金）第5会場

育児・保育6 16:35~17:35

座長：日本子ども家庭総合研究所 川井 尚

57. 母親が認識する乳児の状態と育児困難感の特徴とその関連

名古屋大学大学院医学系研究科 茂本咲子

58. 18ヶ月の子どもを持つ母親のストレス対処と対児感情との関連

国際医療福祉大学大学院 武田江里子

59. 乳幼児を育てている母親の主観的幸福感に影響を与える要因

佐賀大学医学部看護学科 井手紀子

60. 4か月児をもつ母親の育児ストレスと被養育体験の関連

堺市北保健センター 岡島悦子

61. 乳幼児をもつ家族における育児機能に関する研究

— 保育園児をもつ母親のとらえた「家族の情緒的機能」に視点をあてて —

岐阜医療科学大学 吉川一枝

62. 乳幼児を養育する母親の育児支援資源の活用と育児ストレスとの関連

山梨県立大学看護学部 土屋エリ

9月21日（金）第6会場

感染症・予防接種1 13:20～14:00

座長：総合太田病院小児科 佐藤 吉壮

63. 障害児施設での2回にわたる感染性胃腸炎の大流行
若夏愛育園小児科 仲田行克
64. 母親が大量排菌肺結核で乳幼児への集団感染が疑われた事例 第1報
～QuantiFERON(QFT)検査の試用経験～
沖縄県宮古福祉保健所 上原真理子
65. 母親が大量排菌肺結核で乳幼児への集団感染が疑われた事例 第2報
～マスクキャンペーンの試み～
沖縄県宮古福祉保健所 平良セツ子
66. 看護学生の小児感染症の抗体保有状況と予防接種歴および罹患歴との関連
香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 小川佳代

9月21日（金）第6会場

感染症・予防接種2 14:05～14:45

座長：東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野 土屋 滋

67. 看護学生の罹患歴と抗体保有率の差異および予防接種に対する意識調査
ベル総合福祉専門学校 佐藤公子
68. 1歳児の各種ワクチン接種済者率（平成17年度の調査結果）
日本小児科医会公衆衛生委員会 吉田 忠
69. 小学生のインフルエンザに対するインフルエンザワクチンの効果
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 藤原彩子
70. 保育園・幼稚園児（年長児）の任意接種の状況－麻しん及び風しん混合ワクチン第2期接種状況との比較から
あいち小児保健医療総合センター 中澤和美

9月21日（金）第6会場

健康診断1 14:50~15:50

座長：金沢こども医療福祉センター 佐藤 保

71. 生後4ヵ月までの乳児全数把握の方策について—乳児健診システムに関する全国調査自由記述欄の分析より—

日本子ども家庭総合研究所母子保健研究部 齋藤幸子

72. 本邦乳児の排便回数に関するアンケート調査

群馬大学大学院小児生体防御学 小野真衣子

73. 乳幼児健診で「気になる子ども」の後方視的研究—「育てにくさ」に寄り添うチェックリストを用いて—
あきやま子どもクリニック 秋山千枝子

74. 幼児の血圧判定基準について

和洋女子大学 石井莊子

75. 3歳児視聴覚健診導入と効率に関する考察（特に視覚健診に関して）第14報

東邦大学医学部第一眼科 飯田裕太郎

76. 5歳児健診の試み

戸田市立医療保健センターOffice21kitatoda 平岩幹男

9月21日（金）第6会場

健康診断2 15:55~16:55

座長：戸田市立医療保健センター 平岩 幹男

77. 子育て支援をめざした乳幼児健診のあり方 —未受診フォローの現状と課題—

京都府立医科大学 三橋美和

78. 親子の社会的健康度を育むための支援に資する乳幼児問診項目の開発に関する研究

福岡県立大学看護学部 松浦賢長

79. 県の事業が市町村事業へ移行に果たした役割について

前橋保健福祉事務所 吉田亜矢子

80. 医療機関における乳幼児健康診査のあり方に関する研究－保健所における乳幼児保健診査との比較－
鹿児島大学医学部保健学科 白水美保
81. 市町村合併の乳幼児健診に及ぼす影響と課題
京都府立医科大学 福本 恵
82. 市区町村における I T 環境整備状況の変化
山梨大学医学工学総合研究部社会医学講座 田中太一郎

9月21日(金)第7会場

精神保健・被虐待・心身障害 1 13:20~14:10

座長：大分大学小児科 泉 達郎

83. 知覚障害を訴える心身症患者における SSR の有用性の検討
日本大学医学部附属板橋病院小児科 須知みづ紀
84. 障害のある子をもつ父親の養育に対する「思い」
兵庫大学健康科学部 牛尾禮子
85. 重症心身障害児への足湯の効用について－第2報－～心拍変動周波数解析による分析～
鳥取県立鳥取養護学校 山根康代
86. 難治性疾患幼児に対する1年間の遊びボランティア実践－母親にとってのボランティアの意味づけ－
白百合女子大学大学院発達心理学専攻修士課程 坂本広美
87. 重症心身障害児(者)をもつ親の思い・体験－長期にわたる在宅生活の中で－
広島大学病院 堀田実愛

9月21日(金)第7会場

精神保健・被虐待・心身障害 2 14:15~15:05

座長：東邦大学医療センター大橋病院小児科 四宮 範明

88. 小児科クリニックを受診する「軽度発達障害」の子どもへの支援
しぶいこどもクリニック 渡部明子

89. 情緒障害児短期治療施設入所児と高齢者デイサービス利用者との交流実践

青い鳥ぐんま 松島秀文

90. 広汎性発達障害を持つ子どもの背景因子とその家族から見た家族機能との関連の検討

虎の門病院 井上安奈

91. 広汎性発達障害における園ー小、小ー中、中ー高の連携会議の実践ー当外来での医療ー家庭ー教育のチームアプローチシステムの現状ー

高知大学医学部小児思春期医学 脇口明子

92. 発達障害を持つ学童への支援ー医療現場での役割と展望ー

島根大学小児科 瀬島 斉

9月21日（金）第7会場

精神保健・被虐待・心身障害3 15:10~15:50

座長：京都大学大学院医学研究科発達小児科学 中畑 龍俊

93. 心の問題を抱える子どもの入院環境ー各小児科病棟における比較からー

あいち小児保健医療総合センター 浦野葉子

94. 小学校に在籍する障害のある児童の体育の実施状況に関する調査ー中国・四国地方における調査からー

広島大学大学院教育学研究科 田中沙織

95. 特殊教育から特別支援教育へ：達成されたこと、されなかったこと

佐賀大学文化教育学部障害児教育、大学院医学系研究科保健疫学 久野建夫

96. フィンランドにおける乳幼児精神保健

東京医科歯科大学大学院小児家族発達看護学 鈴木香代子

9月21日（金）第8会場

小児医療・在宅医療・療育1 13:20~14:20

座長：新潟大学医学部小児科 内山 聖

97. クリニクラウン（臨床道化師）が入院中の子どもに与える影響の検討ー第1報：調査の概要ー

東京大学大学院医学系研究科健康社会学分野 田邊ますみ

98. クリニクラウン（臨床道化師）が入院中の子どもに与える影響の検討—第2報：子どもの心理社会面の積極性への影響—

東京大学大学院医学系研究科健康社会学分野 花田(久野)由美子

99. 子ども達が入院加療中に受ける病院側の支援～child lifeの観点から～

岡山大学大学院保健学研究科 兵田直子

100. 小児急性期病床における長期入院患者の看護を振り返る

船橋二和病院4階中央病棟小児科チーム 亀山笑美

101. 小児病棟における保育士の役割

前橋赤十字病院小児病棟 有川千恵子

102. 筋ジストロフィー（小児）病棟の変容—病棟の現状から問題を提起する—

独立行政法人国立病院機構徳島病院看護部 三上順子

9月21日（金）第8会場

小児医療・在宅医療・療育2 14:25～15:05

座長：草津総合病院小児科 大矢 紀昭

103. 当センターにおけるNSTの活動としての栄養評価結果について

島田療育センター小児科 上石晶子

104. 小児用経口薬の服用性と特徴

桐生厚生総合病院薬剤部 矢古宇由佳

105. 乳幼児のウィルス性胃腸炎等による脱水症に対する経口補水液について

和光堂株式会社商品開発部 加藤寛貴

106. 鼠径ヘルニア根治術を受ける就学前の子どもと親を対象とした家庭での psychological preparation の実践—介入状況と介入効果に着目して—

東京大学大学院医学系研究科 涌水理恵

9月21日（金）第8会場

小児医療・在宅医療・療育3 15:10～15:50

座長： 獨協医科大学小児科学教室 有阪 治

107. 在宅自己注射療法患者への看護の介入

茨城県立こども病院外来看護師 青木友子

108. 外来クリニカルパス活用における成長ホルモン注射の指導に対する、看護師の意識調査

獨協医科大学看護部 玉村尚子

109. 小児I型糖尿病患児に対する支援～家族・学校・地域・医療機関との連携を通して～

特定医療法人敬愛会ちばなクリニック小児科 栄野比順子

110. 二分脊椎症における直腸障害児と家人への洗腸指導の現状

前橋赤十字病院小児病棟 井上美鈴

9月21日（金）第8会場

小児医療・在宅医療・療育4 15:55～16:55

座長： 大阪大学医学部保健学科 永井 利三郎

111. 療育機関を中心とした発達障害児のネットワーク(第一報)

畑中こども研究所 吉富裕子

112. 療育機関を中心とした発達障害児のネットワーク (第2報)

畑中こども研究所 城所 充

113. 広島市西部こども療育センター「利用者研修」の試み

広島市西部こども療育センター 小川裕子

114. 難病の子ども電話相談の分析と友だち紹介を振り返って

難病の子ども支援全国ネットワーク 橋本玲子

115. 軽度発達障害「フレンズ」の会の取り組みーフレンズの4年間の報告と今後の課題ー

東京家政大学大学院文学研究科 渡邊真伊

116. ピアサポート活動 2 年間の中から

難病のこども支援全国ネットワーク 小林信秋

9 月 21 日 (金) 第 8 会場

小児医療・在宅医療・療育 5 17:00~18:00

座長： 宮城大学看護学部 武田 淳子

117. 機能訓練事業の経過から課題について 青年期となった脳性マヒ児 4 事例から

豊橋創造大学リハビリテーション学部 芝原美由紀

118. 運動発達障害リスクをもった乳幼児の育児支援—生活へのアプローチを目的とした入院を通して—

横浜市総合リハビリテーションセンター 佐藤多美子

119. 小児成育医療支援室の実態と今後の課題～連携と支援～

和歌山県立医科大学保健看護学部 内海みよ子

120. 子どもの医療的ケアに関わる保健・医療・教育職の実態調査（第一報）—支援の現状について—

名古屋大学大学院医学系研究科 齊藤麻子

121. 子どもの医療的ケアに関わる保健・医療・教育職の実態調査（第二報）—医療情報ニーズについて—

名古屋大学医学部保健学科 村上泰子

122. 一般病院での小児リハビリテーションにおいて医師がセラピストにできる事

船橋二和病院小児科 森田昌男

9 月 21 日 (金) 第 9 会場

小児医療・在宅医療・療育 6 13:20~14:20

座長： 弘前大学小児科 伊藤 悦朗

123. 「ダウン症児の赤ちゃん体操教室」20 年を振り返って

近畿大学医学部附属病院 尾崎淳子

124. ダウン症乳児運動発達学習の支援法 その 1 ゆっくり運動発達ステップ評価法

兵庫県立塚口病院小児科 藤田弘子

125. ダウン症乳児の運動学習による発達支援法 その2 歩く準備
兵庫県立塚口病院小児科 村野公美
126. ダウン症乳児の運動学習による発達支援法 その3 姿勢を変える
兵庫県立塚口病院小児科 苗田裕美子
127. ダウン症乳児の運動学習による発達支援法 その4 腹這いから四つ這いまで
兵庫県立塚口病院小児科 西谷佳子
128. 学齢期を過ぎたダウン症者の実態調査
兵庫県立塚口病院小児科 福岡希代

9月21日(金)第9会場

小児医療・在宅医療・療育7 14:25~15:15

座長：福島県立医科大学病態機能学領域 鈴木 順造

129. 小児慢性特定疾患治療研究事業に継続申請しなかった児の経過
国立成育医療センター成育政策科学研究部 加藤忠明
130. 法制化後の小児慢性特定疾患治療研究事業の登録状況
国立成育医療センター成育政策科学研究部 顧 艶紅
131. 小児慢性疾患のキャリアオーバー患者の実態と支援のあり方
国立成育医療センター成育政策科学研究部 佐藤ゆき
132. 慢性疾患児と家族への保健所の支援に関する考察
大阪府立母子保健総合医療センター、大阪府八尾保健所 島本太香子
133. 二つの情報源を自動照合し標識再捕法により疾患頻度を推計するプログラムの開発
国立成育医療センター成育政策科学研究部 原田正平

9月21日（金）第9会場

小児医療・在宅医療・療育8 15:20～16:00

座長：北九州市立八幡病院小児救急センター 市川 光太郎

134. 幼児期のプレパレーションにおける看護師の意識と現状とのずれ
名古屋市立大学看護学部 山口孝子
135. 看護師に fever phobia はあるのか？—小児に携わる 745 名の看護師の現状—
名古屋市立大学保健福祉学部看護学科 細野恵子
136. 小児看護学における外来実習受け入れ病院・診療所の外来看護の現状と課題
岐阜県立看護大学 長谷川桂子
137. 小児看護学における外来実習受け入れ病院・診療所の教育支援の現状と課題
東京慈恵会医科大学 濱中喜代

9月21日（金）第9会場

小児医療・在宅医療・療育9 16:05～17:05

座長：東京女子医科大学看護学部 日沼 千尋

138. 当院における小児の在宅医療の現状
愛仁会千船病院小児科 横田知之
139. 医療的処置を必要とする重症児の在宅療養移行への援助
群馬大学医学部附属病院北3階小児成育医療センター 陽田礼子
140. 在宅人工換気を行っている児の母親の保育所通所を通しての思い～障害児が地域社会で個性を輝かせて生きていくために～
大阪大学医学系研究科保健学専攻 横川しのぶ
141. 医療的ケア技術に関する効果的指導法の開発～在宅障がい児(者)の家族がおかれている状況とその期待に関する検討
北海道大学医学部保健学科 伊藤紀代
142. 医療機器等装着児の支援体制づくりについて（第1報）～体制づくりの検討経過と課題～
神奈川県厚木保健福祉事務所 重松美智子

143. 医療機器等装着児の支援体制づくりについて（第2報）～介護者の声をいかした支援体制づくり～
神奈川県厚木保健福祉事務所 田坂雅子

9月21日（金）第9会場

小児医療・在宅医療・療育10 17:10～18:00

座長：慶應義塾大学医学部小児科 高橋 孝雄

144. 知的発達障害に対する音楽療法の検討
日本大学医学部小児科保育士 柴田さゆみ
145. 自閉症児・者をもつ母親が保健師・看護師に望むこと
大分大学医学部附属病院 関 愛美
146. 自閉症スペクトラムを中心とした発達障害児における食行動に関する検討ー偏食と感覚の偏りとの関連ー
昭和大学歯学部口腔衛生学教室 内海明美
147. 家族教育と専門職教育を同時に行う発達支援モデル教室の運営
神戸大学医学部保健学科 高田 哲
148. 幼児文化教材におけるT学園の実践的研究（第1報）
東京福祉大学子ども科 駒井美智子

9月21日（金）第10会場

生活習慣1 13:20～14:10

座長：敬愛会総合病院中頭病院小児科 玉那覇 栄一

149. 学童期の食べ物の好き嫌いが後の食生活習慣に及ぼす影響(第1報)
山梨学院短期大学 澤田孝二
150. 学童期の食べ物の好き嫌いが後の食生活習慣に及ぼす影響(第2報)
山梨学院短期大学 澤田由美
151. 小学校における生活改善プログラムの効果に関する研究（第1報）
神戸市看護大学 二宮啓子

152. 小学校における生活改善プログラムの効果に関する研究（第2報）

神戸市看護大学 丸山浩枝

153. 幼児・学童の泳力と水泳以外の習い事の関連

クリエイトL&S 高野聖太郎

9月21日（金）第10会場

生活習慣2 14:15~15:05

座長：YMCA 米子医療福祉専門学校 笠置 綱清

154. 幼児の基本的な生活習慣と疲労症状に関する調査研究

北海道教育大学旭川校 芝木美沙子

155. 幼児の降園後外出の光刺激が就寝時刻に与える影響

杏林大学保健学部看護学科 宮川知也

156. 幼児期の生活習慣と身体発育に関する疫学調査（その1） — 午睡習慣と生活指標との関連 —

鳥取大学医学部保健学科 石原千絵子

157. 小学生の生活習慣が及ぼす精神的な健康状態の変化に関する研究

県立長崎シーボルト大学 林田りか

158. 地域子育て支援事業を利用する未就園児と母親の生活リズムについて

岩手県立大学 岩渕光子

9月21日（金）第10会場

生活習慣3 15:10~16:00

座長：京都教育大学教育学部 井上 文夫

159. 歯科と病棟スタッフが連携して行った小児における無菌室での口腔衛生管理

群馬県立小児医療センター歯科・障害児歯科 木下 樹

160. 糖尿病をもつ学童後期・思春期の子どもの爪切りの実態

千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程 金丸 友

161. 中学生・高校生・大学生の「清潔感覚」に関する横断的調査

足利短期大学看護科 高橋 衣

162. 中学生の生活習慣と血圧測定

京都府立医科大学小児科 藤原 寛

163. 小中学生の肥満の合併症およびメタボリックシンドロームの割合

徳島赤十字病院小児科 中津忠則

9月21日（金）第10会場

小児医療・在宅医療・療育11 16:05～17:05

座長：鹿児島大学医学部保健学科 武井 修治

164. てんかんの子を持つ親の、疾患の受容過程

岡山大学医学部保健学科 三好麻衣

165. 重症心身障害児の睡眠障害と介護負担感に関するアンケート調査

兵庫大学健康科学部看護学科 池田友美

166. 慢性疾患の子ども（1～4歳）を持つ母親の育児ストレスー健康な子どもを持つ母親との比較からー

順天堂大学医療看護学部 西村あをい

167. ムコ多糖症児の養育者が行っているケアの実際と困難

埼玉医科大学 久保恭子

168. 医療的ケアが必要な在宅療養児の母親の子どもに対する精神的余裕の変化に関する質的研究

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家族看護学分野 西垣佳織

169. ウイルソン病友の会活動状況，第二報

東邦大学医学部小児科学第二講座 清水教一

9月22日(土)第2会場

育児・保育7 9:00~9:40

座長：神奈川県立こども医療センター 後藤 彰子

170. 産後の母親支援における一考察 ～自己記入式質問票セットから見てきたこと～
東京都世田谷区役所 戸塚恵子
171. 母親が産院に求めるサービス～絵本の読みかたり会を通して見えるもの～
葛飾赤十字産院 野町寧都
172. 多胎児家庭における妊娠期から育児期早期までの援助ニーズに関する研究
岐阜県立看護大学 服部律子
173. 産婦人科病院における子育て支援のあり方を考える 子育てサークルを中心に
産科婦人科館出張佐藤病院マミーズルーム助産師 佐藤裕子

9月22日(土)第2会場

育児・保育8 9:45~10:25

座長：金沢大学大学院医学系研究科 木村 留美子

174. 「ちょっと気になる子」の親と子の支援に関する研究(1) ー育児に関する心配事のアンケートからー
聖徳大学人文学部 腰川一恵
175. 「ちょっと気になる子」の親と子の支援に関する研究 ー育児に関する個別相談からー
聖徳大学人文学部 室田洋子
176. 幼稚園・保育園における「気になる子」に関するアンケート調査
奈良教育大学教育学研究科 圓尾奈津美
177. 親子療育キャンプからみた母親支援のあり方について
広島大学大学院教育学研究科 佐藤智恵

9月22日(土)第2会場

育児・保育9 10:30~11:30

座長：松山赤十字病院小児科 小谷 信行

178. A市の保育所に通う障害児の通園状況に関する保護者へのアンケート調査
大阪大学医学系研究科保健学専攻 岩本桜利子
179. 障害児保育の受け入れに関する調査～A市の保育園園長へのアンケートから～
大阪大学医学系研究科保健学専攻 加島佑香
180. 大阪府の障害児保育の現状
大阪大学医学系研究科保健学専攻 阪上健太郎
181. 保育所に勤務する保育士のワークモチベーションおよび心身の健康状況と労働職場環境との関連
東京大学大学院医学系研究科健康社会学 磯野富美子
182. 病児に対する援助・支援について(1) ホスピタル・プレイ・スペシャリスト、チャイルド・ライフ
スペシャリスト、医療保育士の比較研究から
静岡県立大学短期大学部 松平千佳
183. 大阪市の母子保健事業としての発達障害相談
大阪市立大学大学院 澤由希子

9月22日(土)第3会場

育児・保育10 9:00~9:50

座長：秋田組合総合病院小児科 小松 和男

184. 幼児の就寝・起床時間と生活時間 ～保育園児と幼稚園児の特徴～
和泉短期大学 井狩芳子
185. 子どもの睡眠に影響を与える要因の解明
久留米大学小児科 岩崎瑞枝
186. 茨城県内の子どもの睡眠に関する母親の困りごとの実態
茨城県立医療大学保健医療学部看護学科 田村麻里子

187. 茨城県の子どもの就寝時間と母親が子どもに希望する就寝時間の実態

茨城県立医療大学保健医療学部看護学科 沼口知恵子

188. 乳幼児の着衣と着替えに関する調査

花王株式会社 杉浦弘子

9月22日(土) 第3会場

育児・保育 11 9:55~10:35

座長：高崎医師会 江原 弘佳

189. 家庭における哺乳瓶及び人工乳首使用に関する研究(第2報)ー改良人工乳首の利用状況ー

山梨学院短期大学食物栄養科 根津美智子

190. 授乳期と離乳食初期における食事場面の母子相互作用の検討

東京医科歯科大学大学院 村瀬喜美子

191. 幼児をもつ母親の健康への関心・生活習慣の実態と幼児の食習慣の関連

千葉大学看護学部 中村伸枝

192. 保育所における食育と家庭における子の調理手伝い要求との関連～子どもの調理参加要求に親はどう対応しているか～

慈愛会保育園 小野友紀

9月22日(土) 第3会場

育児・保育 12 10:40~11:20

座長：岩手医科大学小児科学講座 千田 勝一

193. 双子を持つ母親の退院後1か月間の育児体験

日本赤十字看護大学大学院 藤井美穂子

194. 2週間健診時の体重増加不良児に対する母乳育児支援

日本赤十字社医療センター小児保健科 植松雅代

195. 妊娠中・授乳中のくすりに対する地域の相談体制の必要性

あいち小児保健医療総合センター 山崎嘉久

196. 温蔵庫を用いた新生児用ミルクの加温について

国際医療福祉大学熱海病院小児科 板倉敬乃

9月22日(土)第4会場

発育・発達3 9:00~9:50

座長：峯小児科 峯 真人

197. 保健指導で多飲多尿が看過されていた先天性尿崩症の1例

(財)多摩北部医療センター小児科 篠崎昌子

198. 慢性透析療法を必要とする母親から出生した児の動向

東邦大学医学部看護学科 岩崎和代

199. 摂食機能療法を行った Prader-Willi 症候群の一例

昭和大学歯学部小児成育歯科学教室 岩間一実

200. 様々な障害を併せもつ児の就園・就学への取り組み～その1 看護師の立場から～

横浜市総合リハビリテーションセンター肢体不自由児通園施設 今吉良子

201. 様々な障害を併せもつ児の就園・就学への取り組み～その2 保育士の立場から～

横浜市総合リハビリテーションセンター肢体不自由児通園施設 井上朋子

9月22日(土)第4会場

発育・発達4 9:55~10:55

座長：群馬県歯科医師会 石田 寛也

202. 成長発育からみた学校歯科検診のあり方に関する検討

神奈川歯科大学附属横浜研修センター臨床歯科学系総合歯科学講座矯正歯科学分野 小田博雄

203. 幼児期における箸の操作時の手指動作についての三次元的観察

昭和大学歯学部口腔衛生学教室 大岡貴史

204. 秋田県における新生児聴覚スクリーニングー実施までの取り組みと現状及び今後の課題ー

社会福祉法人グリーンローズ難聴幼児通園施設オリブ園言語聴覚士 片桐貞子

205. 乳幼児健康診査とその事後フォロー事業に関わる言語聴覚士についての実態調査
県立広島大学保健福祉学部コミュニケーション障害学科 細川淳嗣
206. 乳幼児健診後のフォロー事業「経過検診」の立ち上げからの変化
伊勢原市役所子ども部子育て支援課母子保健担当 坂野日和
207. 「すくすくコホート三重」の乳児発達観察の評価結果 第1報
三重中央医療センター小児科・臨床研究部 山川紀子

9月22日(土) 第4会場

発育・発達5 11:00~12:00

座長：兵庫教育大学大学院学校教育研究科 松村 京子

208. 絵本の読み聞かせの早期導入について
日本赤十字社医療センター小児保健科 比留間敦子
209. 幼児の絵本の読み聞かせと母親からみた児の発達評価
心臓血管研究所附属病院 仲嵩明甲子
210. 5歳保育園児の生活習慣と描画能力
長浜市教育委員会教育指導課 川越奈津子
211. 小児看護における絵本の活用ー講義の中で読み聞かせを実践してー
順正短期大学 郷木義子
212. 「星と波テスト」からみた発達指標(1)
医療法人白日会黒川病院 吉村梢恵
213. 障害児教育担当教員に対する音楽教育についてのアンケート調査ー音楽療法に関する意識及び音楽療法に関する文献調査ー
大阪大学医学系研究科保健学専攻 北野あい子

9月22日(土)第5会場

栄養1 9:00~9:50

座長：日本大学医学部小児科 岡田 知雄

214. H 中学の骨密度の実態とその対策

梶原診療所 倉信 均

215. 女子学生の体重に関する意識と食行動

聖徳大学人文学部児童学科 松浦信夫

216. 抑うつにより食欲不振に陥った児への栄養サポート

館林厚生病院医療技術部栄養室 五箇幸子

217. ラオスにおけるビタミン B₁ 欠乏による乳児死亡例の多発

聖マリア病院新生児科 浦部大策

218. 小児の栄養状態評価を主な目的とした身長・体重発育曲線ソフトの開発

和洋女子大学 橋本令子

9月22日(土)第5会場

栄養2 9:55~10:55

座長：佐久総合病院 牛久 英雄

219. タブレットに配合したリン酸化オリゴ糖の唾液中での溶解性について

江崎グリコ株式会社食品開発研究所 渡辺俊之

220. こどもの食事に対する母親の楽しさについて

ピジョン株式会社常総研究所 板子絵美

221. 児童養護施設の食事環境に及ぼす施設規模の影響について

日本子ども家庭総合研究所 堤 ちはる

222. 肥満児の生活指導のための基礎データ収集の試み (3) - 冬休みの歩数データの分析から -

和洋女子大学家政学部 藤澤由美子

223. 肥満児の生活指導のための基礎データ収集の試み (4) —冬休みの生活状況調査の分析から—
和洋女子大学人文学部 高梨一彦

224. 肥満防止対策のための食行動質問表プログラム開発
横浜市立大学医学部看護学科 結城瑛子

9月22日(土) 第5会場

新生児・未熟児 11:00~11:50

座長：香川大学小児科 伊藤 進

225. 極低出生体重で生まれた子どもの幼稚園生活に対する母親の思い
聖路加看護大学大学院修士課程 小泉 麗

226. 医師・臨床心理士による母体・胎児集中治療室入院患者への産前訪問の試み
大阪市立大学大学院生活科学研究科 長濱輝代

227. 当院で行われている未熟児親の会の参加状況と満足度の評価
桐生厚生総合病院小児科 浦野博央

228. 未熟児支援の終結に関する個別支援検討会を実施して
高崎保健福祉事務所 山田行子

229. 当院 NICU に入院した児の入院後の経緯ならびに長期入院児の課題と対策
日本大学小児科 牧本優美

9月22日(土) 第6会場

喘息・アレルギー1 9:00~9:40

座長：札幌医科大学小児科 堤 裕幸

230. 気管支喘息児をもつ母親の揺れ動く感情
国際医療福祉大学熱海病院 菅沼育子

231. 乳幼児期のアレルギー・喘息予防教室 (3)
堺市堺保健センター 前野敏也

232. 母親の養育態度が喘息児の自尊感情と生活充実感に及ぼす影響

日本大学医学部小児科 吉井美紗

233. 気管支喘息児の療養行動における Self-Regulation 尺度の開発

大阪赤十字病院 下田留美子

9月22日(土)第6会場

喘息・アレルギー2 9:45~10:45

座長：群馬大学大学院医学系研究科小児生体防御学 望月 博之

234. 乳児アトピー性皮膚炎の発症因子について

群馬大学大学院医学系研究科小児生体防御学 杉山幹雄

235. 3歳でのアトピー性皮膚炎発症因子について

群馬大学大学院医学系研究科小児生体防御学 荒川浩一

236. 喘息児に対する幼稚園・保育園・学校の対応についての報告(その1)(患児とその保護者からのメッセージ)

日本音楽療法研究連合 福田義子

237. サルブタモール持続吸入療法の効果、安全性の検討

東京勤労者医療会東葛病院小児科 小林嘉代

238. アレルギーにやさしい学校環境の実態

群馬県立県民健康科学大学 益子育代

239. アトピー性皮膚炎患児の小学校でのシャワー浴の効果と問題点

群馬大学大学院小児生体防御学分野 只木弘美

9月22日(土)第6会場

学校保健1 10:50~11:40

座長：高崎健康福祉大学薬学部 徳山 研一

240. 子どもたちの心にひびくいのちの話

(社)日本助産師会秋田県支部 鈴木悠子

241. 前思春期から思春期にみられる子どものこころの変化

金沢大学医学部附属病院 向 智子

242. 入院中に高校受験を迎える子どもへの生活支援

埼玉県立小児医療センター幼児学童第二病棟 中杉晃子

243. 学童の疲労自覚症状（不定愁訴）に関する疫学的研究—女兒における身体的症状と精神的症状の発現と相互関係—

県立新潟女子短期大学 宮西邦夫

244. 中学生・高校生の生活習慣に影響を及ぼす要因の研究 —生徒のセルフ・コントロール力、保護者の養育態度から—

大垣日本大学高等学校 小杉真由美

9月22日（土）第7会場

精神保健・被虐待・心身障害4 9:00~9:50

座長：あいち小児保健医療総合センター 山崎 嘉久

245. 養護学校において繰り返しおきた骨折と外傷

県立新潟女子短期大学・生活科学科 宮川公子

246. 院内 CAPS 委員会との連携のもと対応した一事例

群馬大学医学部附属病院北3階小児成育医療センター 縄野千寿子

247. 母親の精神疾患と児の反応性愛着障害

東京女子医科大学東医療センター小児科 四ノ原祐希

248. 幼児をもつ母親の自閉症スペクトラム指数

旭川市こども通園センター 松野郷有実子

249. EPDS 得点の分散と関連因子に関する研究

茨城県常総市 渡辺多恵子

9月22日(土)第7会場

精神保健・被虐待・心身障害 5 9:55~10:45

座長： 金沢大学医学部保健学科看護学専攻 関 秀俊

250. 保護者から不適切な養育(虐待)を受けている学齢児童に関する研究—第1報 兵庫県小学校における児童の実態調査—

兵庫県立神戸特別支援学校 福岡淑子

251. 乳児期早期からの虐待予防～2ヵ月親子講習会の効果～

東大阪市保健所 佐藤拓代

252. 児童虐待予防にむけた周産期からの保健師による家庭訪問事例の検討

大阪府立大学 上野昌江

253. 子ども虐待支援にみる保健師アドボカシーに関する研究

武蔵野大学看護学部 齋藤泰子

254. 親支援グループミーティングについての一考察

群馬県桐生保健福祉事務所 書上ゆかり

9月22日(土)第7会場

精神保健・被虐待・心身障害 6 10:50~11:40

座長： 広島大学大学院保健学研究科 田中 義人

255. 医療機関における児童虐待の対応に関する e-learning システムの開発

順心会看護医療大学 河合洋子

256. 子育てアンケートからの親支援事業～東京都南多摩保健所方式を活用しての虐待予防活動～

福島市保健福祉センター健康推進課 草野美恵子

257. 被虐待障害児への地域生活支援～地域機関連携を通して～

横浜市北部地域療育センター 富樫和美

258. 児童虐待防止ネットワーク構築と評価への支援—3年間の取り組みより—

和歌山県立医科大学保健看護学部 前馬理恵

259. 地域医療における子ども虐待対応能力モデルの提案 —病院・診療所連携システム・地域連携室と子ども虐待防止ネットワーク—

和歌山県立医科大学小児科学 北野尚美

9月22日(土)第8会場

小児医療・在宅医療・療育 12 9:00~9:50

座長：岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学 近藤 直実

260. 再発を繰り返しながらも生存を続けるがんの子どもをもつ母親の体験

高崎健康福祉大学看護学部 田邊美佐子

261. 障害をもつ子どもの母親の受容過程における育児能力獲得への支援

岡山大学病院 林 真弓

262. 障害児へのタッチケアがその母親に及ぼす影響 (第1報)

甲南女子大学看護リハビリテーション学部 大森裕子

263. 乳幼児期の障害児を育てる家族の意思決定における困難とサポート

千葉大学看護学部 荒木暁子

264. 障害児を持つ母親に提供される治療グループの意味と機能

横浜市西部地域療育センター 一瀬早百合

9月22日(土)第8会場

小児医療・在宅医療・療育 13 9:55~10:55

座長：群馬大学大学院医学系研究科小児生体防御学 大木 康史

265. 成人先天性心疾患患者の健康関連QOL—SF36による評価— (第1報)

千葉県循環器病センター 白井文晶

266. 先天性心疾患の子どもをもつ保護者に対する医師の説明 第1報 —保護者に伝えたいこと、期待すること—

東京女子医科大学看護学部 奥野順子

267. 先天性心疾患の子どもをもつ保護者に対する医師の説明 第2報 ―うまく伝わったかの判断と困難なこと―

東京女子医科大学看護学部 田久保由美子

268. 先天性心疾患の乳幼児をもつ母親の困難感とソーシャルサポートの変化

千葉県循環器病センター 水野芳子

269. 休日夜間急患センター受診に関する実態調査Ⅰ―母親からみた子どもの症状―

岡山大学大学院保健学研究科 森 貴美

270. 休日夜間急患センター受診に関する実態調査Ⅱ―救急受診の理由―

岡山大学大学院保健学研究科 新沼正子

9月22日(土)第8会場

小児医療・在宅医療・療育14 11:00~11:50

座長：山梨県赤十字血液センター 田中 均

271. 小児救急の社会的サポートとしての「小児救急電話相談」 第二報；電話相談対応者の実態

藤田保健衛生大学衛生学部衛生看護科 大西文子

272. 病院小児科外来における病診連携についてのアンケート調査

市立長浜病院小児科 多賀俊明

273. 杉並区急病医療情報センターに見る小児の相談内容の検討

ダイヤル・サービス株式会社 河南憲子

274. 小児救急の社会的サポートとしての「小児救急電話相談」 第一報；運用状況等の調査報告

東京都多摩府中保健所 本田浩子

275. 過疎地域病院周産期・小児医療を担う医師確保対策調査 ―大分県医師確保対策緊急調査研究事業報告―

大分大学医学部脳・神経機能統御講座小児科学 泉 達郎

9月22日(土)第9会場

事故と救急1 9:00~9:50

座長：佐賀整肢学園こども発達医療センター 田崎 考

276. 滋賀県における乳幼児事故実態調査について

滋賀県立小児保健医療センター保健指導部 木田玲子

277. 乳幼児の事故に関する研究—1歳7ヶ月健診を通して—

国立成育医療センター 新田幸代

278. 10年間に経験した9例の死亡事故・事件：救急現場の現状と課題

札幌徳洲会病院小児科 岡 敏明

279. 6歳未満の幼児の自転車の関連した病院受診事故の実態

京都第二赤十字病院小児科 長村敏生

280. 保育園での怪我・事故に対する私たちの取り組み

大田区立仲池上保育園 小林良太

9月22日(土)第9会場

事故と救急2 9:55~10:45

座長：山梨大学医学部看護学科 大山 建司

281. 学校で心室細動を起こした2症例 ～AEDの有用性について～

群馬県立小児医療センター循環器科 池田健太郎

282. 小児救急の社会的サポートとしての「小児救急電話相談」 第三報；電話相談利用者の状況と小児救急の課題

あいち小児保健医療総合センター 秋津佐智恵

283. 小児救急電話トリアージ・マニュアル使用状況と看護師の意識

新潟県立看護大学看護学部 加固正子

284. 入院中の子どもに付き添う家族のヒヤリ・ハットの現状と要因に関する研究

岩手県立大学看護学部 武田晶子

285. 子どもの安全を守る地域活動に関する大人の意識

山梨県立看護大学短期大学部 横森愛子

9月22日(土)第9会場

事故と救急3 10:50~11:40

座長：自治医科大学小児科 白石 裕比湖

286. 両親学級でのチャイルドシート指導

さいたま市立病院周産期母子医療センター小児科 市川知則

287. チャイルドシートのスペシャルユーズを考える

日本小児保健協会チャイルドシート検討委員会 服部益治

288. 事故情報データベース構築にむけての小児救急外来における情報収集方法の検討

国立成育医療センター 西海真理

289. 傷害部位を表示する身体地図情報システムの開発

国立成育医療センター 林 幸子

290. 傷害予防のための日常生活データベースの構築とその応用

緑園こどもクリニック 山中龍宏

9月22日(土)第10会場

学校保健2 9:00~9:50

座長：岡山大学大学院保健学研究所 小田 慈

291. 「循環器系、及び呼吸器系に疾病のある児童の音楽の指導」

群馬県立赤城養護学校桐生分校 芝崎富司

292. 大阪府の養護学校における医療的ケアの実施状況～看護師へのアンケート調査～

大阪大学医学系研究科保健学専攻 江川早紀

293. 院内学級を受け持つ教師が医療者に求めていること

岡山大学医学部保健学科 廣瀬 茜

294. 特別支援教育の推進に向けた発達障害診療

新潟県立吉田病院子どもの心診療科 新田初美

295. 養護教諭の軽度発達障害を持つ児童への関わりと役割、医療機関との連携

岡山大学医学部 山下 睦

9月22日（土）第10会場

学校保健3 9:55~10:45

座長：旭川医科大学医学部看護学科 岡田 洋子

296. 前思春期の子どもの自己イメージと親へのイメージ（第一報）

金沢市立明成小学校 竹俣由美子

297. 前思春期の子どもの自己イメージと親へのイメージ—幼少期アタッチメントの関連—（第二報）

金沢市立明成小学校 竹俣由美子

298. 看護学生の子どもイメージと被養育体験との関連

共立女子短期大学看護学科 藤沼小智子

299. 臨床心理士（スクールカウンセラー）と小児科医の連携

三鷹市教育委員会 田代信久

300. 子ども支援の連携で生じる情報伝達の不一致

国立精神・神経センター精神保健研究所 堀口寿広

9月22日（土）第10会場

学校保健4 10:50~11:50

座長：群馬大学大学院医学系研究科小児生体防御学 荒川 浩一

301. 母子関係不全から抑うつ、摂食障害に陥った児への関わり —退院・復学を目指して—

館林厚生病院看護部小児科病棟 河内ルミ

302. 病院と学校の連携の重要性について—境界性人格障害に合併した摂食障害の一例を通じて—

高知大学小児思春期医学細木病院小児科 島崎真弓

303. 肥満・やせ・低身長の改善／悪化にスポーツが関連した症例
獨協医科大学小児科 福田啓伸
304. 小学高学年の食行動に及ぼす食事観や体型認識の影響
金沢大学医学部保健学科 山田滋葉
305. 学校保健における体格判定基準の検討―旧基準と新基準の比較及び肥満傾向児の年次推移とその動態について―
和洋女子大学 澤村 薫
306. 学校保健における痩身傾向児の年次推移について
和洋女子大学 村田光範